
今...

乃舞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今…

【Nコード】

N9516K

【作者名】

乃舞

【あらすじ】

今、何をしているか。

当たり前が当たり前ではない。

（と、あらすじのスケールを大きく書いてる気がします。）

今、僕は息をした。

鼻から吸って口からゆっくりと吐いた。
もう一度。

ゆっくり吸って、ゆっくり吐いた。

そうして目を開けた。
そうして朝を迎えた。
当然… なんだけど…。
当然じゃない朝。

今、僕は一分間止まっていた。
ただじっと。

息と瞬きだけをして。
口を開かず、
足を動かさず、
手を使わず。

一分間を無駄にした。

でもさ、その一分間って、
もしかしたら、

一分前に亡くなった人が生きたかった一分間なんじゃないかな。

今、僕は一步踏み出した。

無意識にただベランダに出るために。

無意識に空を見つめて。

無意識に靴を少し踏んでいて。

そうして一步を踏み出した。

ねえ、その一步。

もしかしたら、

足が不自由な人が、

寝たきりの人が、

踏み出したかった一步なんじゃないかな。

今、僕は朝日を浴びた。

風を感じた。

光を感じた。

暖かさを感じた。

久々に早く起きて来られたから。

ゆっくりとした時を味わえた。

少しの幸せを掴める気がした。

温かい匂いに誘われて鼻をひくひくさせた。

あつあつの珈琲。

さくさくの食パン。

白黄のめだまやき。

すんと席につく。

「おはよう。」

おはよう。

「早かったね。」

うん。

何気ない会話。

家族との会話。

いつもと変わらないつまらない会話。

だけどさ、掴める気がした幸せもつまらない会話も、

もしかしたら、

もしかしたら、

突然、

なくなってしまうかもしれない。

明日か、

一週間後か、

ずっと先か……。

分からないけど。

分からないんだけど。

でもね、

朝起きたり、

息をしたり、

少し無駄に時を過ごしたり、

一歩踏み出したり、

いろんな当たり前な事を

当たり前だと思わないで欲しいんだ。

今、生きてるって感じて欲しいんだ。

実感してその命、絶対に無駄にしないで欲しいんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9516k/>

今...

2010年10月15日22時57分発行